

# 事後評価書

箇所名	磯津地区海岸		事業名	海岸事業		課名	港湾・海岸課									
事業概要	工期	H16年度～H29年度	全体事業費	1,048百万円(負担率:国 1/2:県 1/2)												
	(下段前回)	H16年度～H29年度	(下段前回)	2,100百万円(負担率:国 1/2:県 1/2)												
事業目的及び内容		<p><b>【事業目的】</b></p> <p>磯津地区海岸は、伊勢湾に面した四日市市南部の鈴鹿川河口部と磯津漁港に挟まれた場所に位置します。海岸の背後地は、三方を北側の鈴鹿川河川堤防、東側の海岸堤防、南側の磯津漁港で囲われており、ここに家屋と事業所が密集しています。</p> <p>当海岸の海岸保全施設は、伊勢湾台風後の築造から既に50年以上が経過し、堤防の老朽化（表法面のひび割れや堤体の沈下等）が著しく生じていました。また、波浪による海岸侵食にさらされており、年々汀線が後退していました。</p> <p>そのため、高潮や高波等から背後地の生命・財産を守ることを目的として、堤防補強による老朽化対策、地盤改良による地震対策及び離岸堤の整備と養浜による侵食対策を実施しました。</p> <p><b>【事業経緯】</b></p> <p>平成16年度 事業着手 平成29年度 事業完了</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">離岸堤</td> <td style="width: 70%;">L = 300m (100m × 3基)</td> </tr> <tr> <td>養浜</td> <td>V = 62,300m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>堤防(補強)</td> <td>L = 400m</td> </tr> <tr> <td>堤防(地盤改良)</td> <td>L = 200m</td> </tr> </table>							離岸堤	L = 300m (100m × 3基)	養浜	V = 62,300m <sup>3</sup>	堤防(補強)	L = 400m	堤防(地盤改良)	L = 200m
離岸堤	L = 300m (100m × 3基)															
養浜	V = 62,300m <sup>3</sup>															
堤防(補強)	L = 400m															
堤防(地盤改良)	L = 200m															
1・事業の効果		<p>1-1 事業の効果</p> <p>整備前は、高潮や高波等により海水が堤防を越えて浸水し、家屋などに被害が発生する可能性がありました。また、地震時には液状化により堤防が沈下し、浸水被害が生じる可能性がありました。</p> <p>離岸堤及び養浜の整備により、波の高さを抑えるとともに、砂浜の侵食を防ぐことが可能となりました。また、堤防の嵩上げと法面補強を行い、高潮や高波等による浸水の防止を図り、さらには、地盤改良を行い、地震時の液状化による堤防の沈下を防ぐことで、浸水被害を防止しました。</p> <p>1-2 事業効果の評価</p> <p>令和4年度時点の費用便益比は7.56です。</p>														
2・事業の環境面への配慮及び事業による環境への変化		<p>平成12年度から令和2年度までの近隣の水質調査の結果について確認しました。</p> <p>近隣の観測点である、四日市鈴鹿(甲)St4のCOD(化学的酸素要求量)は、年によって基準値を前後しているものの、事業期間内及び事業完了後において、傾向に大きな変動はありません。</p> <p>よって、事業実施に伴う水質の変化はないと考えられます。</p>														

### 3・事業を巡る社会経済情勢等の変化

磯津地区の世帯数に大きな変化はなく、背後地には依然として家屋や事業所等が密集しています。

### 4・県民の意見

#### 4-1 アンケート調査の概要

磯津地区の住民および周辺地域の四日市市の住民に対し、アンケート調査を実施しました。

紙媒体のアンケートに加え、Web アンケートを実施し、それぞれの配布部数及び回答部数は以下の通りです。

種類	対象者	配布数	回収数	回収率
アンケート用紙	磯津地区の住民	509部	382部	75.0%
Webアンケート	周辺地域の住民	-	250部	-
合計	全体	-	632部	-

#### 4-2 アンケート結果

紙媒体アンケートでは約53%、Web アンケートでは約57%が「安心感が増した」と回答をいただきました。

##### 事業効果に対する意見

- ・台風で波が堤防を越えなくなった。
- ・昔の砂浜が戻ってきて嬉しい。
- ・地域住民が安心して生活していけるようにしてくれたことに感謝している。
- ・散歩しやすくなり満足している。

##### 改善・要望等に対する意見

- ・大地震や津波に対して不安である。
- ・砂浜部の雑草・大雨の後などの流木、ゴミ類の漂着が多く、これらの除草や除去をしてほしい。
- ・整備した施設の維持管理をしっかりしてほしい。

### 5・再評価の経緯

平成25年度に答申された再評価審査委員会の意見に対する取り組みを次のとおり行っています。

#### 【答申】

海岸高潮対策事業において、可能な範囲での津波の考え方について言及されたい。

#### 【対応】

- ・当海岸は、設計津波高よりも堤防高の方が高いため、津波に対して一定の効果があると考えています。
- ・ソフト対策として、地域と連携して定期的な防災訓練を実施し、住民の危機意識向上に努めています。

### 6・今後の課題等

- ・想定外と言われるような大地震や津波に対して不安であるといった意見があるため、ハード対策のみでは限界があり、ソフト対策が重要であることを伝えていきます。
- ・砂浜への流木やプラスチックごみ等の漂着物や、堤防付近の草木が目立ち、利用・環境に関して改善してほしいとの声があるため、ごみ処理や除草などを行い、環境の美化に努めてまいります。
- ・施設の維持管理をしっかりしてほしいとの意見があるため、施設の効果が十分に発揮されるための適切な維持管理を行います。